

2019年12月29日 主日礼拝 <洗礼式>

司 会 ①笠松兄 ②宮川兄 ③野田兄

奏 楽

祈 禱 ①森屋師 ②森屋師 ③大枝兄

賛 美 聖歌292番「今日まで守られ来たりし我が身」
(主を喜ぶことは) (み手の中で全ては変わる)

主の祈り

聖 書 ①ローマ人への手紙11章33～36節(P249)
②マラキ書4章5～6節(P1326)
③マタイによる福音書28章16～20節(P50)

音 楽 ① 安武玄晃氏(V)
②③サインダンス

証 詞 ① 松浦貴大兄(青年会)
②③熊谷竹生兄(バルナバ会)

メッセージ ①「ああ深いかな！」 川村喜輝補教師
②「父の心に触れる～リバイバルに備えて」 菅原岳先生
③「宣教にわが身をささげて」 小林詩音副牧師

賛 美 「数えてみよ、主の恵み」(聖歌604番) 献金
頌 栄 「シャローム・シャローム」 アーメン
(沼倉兄・菊池姉・當間姉・佐久間姉召天！)

祝 禱 大川従道牧師

「わたしの魂よ、主をたたえよ。
主の御計らいを何ひとつ忘れてはならない。」
(詩篇百三の二・新共同訳)

【大和コース】

☆すばらしい一年でした。最善以下をなさない神に感謝と賛美を捧げます！

「初詣礼拝」は、1月1日9時と11時の2回です。日曜学校もあります(シャローム館)。
送迎バスは、主日礼拝と同時刻。

☆受洗おめでとございます。①高見澤姉(青年会)

- ・ 本日、J.Plus(青年会・学生会・中高生会)、ICA禱援会があります。昼食はお休み。
- ・ 東京カルバリーは5時から。説教は小林副牧師と大川牧師。
- * 今年一年守られたことを感謝し、恒例の「年末感謝献金」を捧げましょう。袋は受付。

* 今週の祈禱会は特別「新年祈禱聖会」3日(金)14:00 説教と独奏はポーマン先生。
聖会后、拍手祈禱あり。送迎は13:20～50。 * 早天と定例祈禱会はお休みです。

* 来週の日曜礼拝では、「ソウルマティックス」のゴスペル合唱(指揮は池末兄)が
なされます。ご期待くださり、お誘い合せて下さい。(第2と第3)

石の枕

今年最後のコラムは、少々高尚なる世界の紹介。(哄笑ではありません。)

ピーター・マクミランの詩歌翻遊より(25日の朝日新聞からの引用)

貧しけれどもクリスマスの夜の父ありぬ

Though we were poor, on Christmas night, Father —

You were here !

翻訳家のマクミラン氏の説明は深い。英訳では「父」を三人称から二人称に変更し、父親に対する呼びかけの歌に変えて臨場感を出した。親しみの感じられる Dad ではなく Father を使ったのは、God the Father(父なる神)を連想させ、キリスト教における普遍的な父としての神と、作者の父親とを重ねられるようにするためだ。

作者の長谷川かな女は明治20年生まれの俳人である。俳句を英訳する際、英語としての完成度を重んじて、五七五の調べにはこだわらなかった。

「父ありぬ」を最終行に配し、「ありぬ」を there(そこ)ではなく here(ここ)を用いて訳し、クリスマスの今宵に父の存在を感じている臨場感を強調した。この英訳を試みて、俳句は小さなダイヤモンドのようだ。

私は10年前に他界した父のことを考えていた。幼い頃のクリスマスはほろ苦い思い出ばかりだが、それでも毎年父がいなかったことはなかった。そのありがたさが不意に腑(ふ)に落ちて、視界がにじむ。皆さんも素敵なXマスを。

大川評: 英訳のおかげで、俳句の世界がハイクラスに高められた。翻訳者の秀れた感性を思う。24日のイブ礼拝に、サラリーマンにとって、会社の早退はむずかしかったであろうが、幼い娘と共に、Xマスの祝いを大切にしたい若き父親を見て感動した。私も88歳で主のもとに召された父を想った。私は父の歌う賛美とメッセージが大好きだった。久々に父を想い、視界がにじんだ。

イブ礼拝では、イザヤ書41章13節が冒頭で語られた。「Fear not, I am here to help you!」。まさに「父ありぬ」だ。

この一年守られたことを心から感謝し、栄光を主におかえしいたします。皆様、良いお年をお迎え下さいますようにお祈りいたします。

宿題(祝大) 今週もむさぼるように聖書を読みましょう!

Aコース: 黙示録20章~マタイ4章 Bコース: ゼカリヤ書10章~創世記11章